

「遊友絆の森」で、毎年恒例の「ミニ門松づくり」が行われました！

令和4年12月11日（日曜日）、周南市鹿野^{みたけ}金峰^{ゆうゆうきずな}の「遊友^{もり}絆の森」に会員12人が集まり、第5回目の定例活動を行いました。

「遊友絆の森」は、平成13年に実施された里山体験交流活動実践事業を契機に、鹿野の里山林を整備・活用しながら、地元住民と都市住民の交流を促進していくことを目的に設立されたグループです。

当日の午前中は、今年5月に植栽した里芋の掘り取り作業を行いました。小ぶりながらも質の良い里芋がたくさんとれ、収穫した里芋の一部は、昼食の煮しめにも使用されました。

会員手作りのおいしい昼食をはさんで、午後からは、毎年恒例の「ミニ門松」の作成に取り組みました。使用する竹やマツ・梅などの材料は、藤井会長ほか会員が手分けして事前に準備したものです。

会員同士で、各素材の配置のバランスを確認しながら作成し、会員それぞれの感性が活かされたとても素敵な「ミニ門松」が出来上がりました。

「遊友絆の森」では、今後もこのような活動を継続して実施し、会員同士の交流をさらに深めていきたいとしています。



ミニ門松づくり



記念撮影